
テーマは

Quality Life by Football

あなたの生活をゆたかにする FOOTBALL のカタチ.

SAM

- ▼ Football English 2 - 13
 - ▽ Fリーグ 14 - 18
 - ▼ Lady First 19 - 23
 - ▽ 7人制・8人制のフットボール 24
 - ▼ フリースタイル・フットボール 25 - 27
 - ▽ シーサイド・ストーリー 28
 - ▼ Powerchair Football 29
 - ▽ Football Asian 30 - 39
 - ▼ それぞれの football 40 - 44
 - ▽ Sports Providers 46 - 49
 - ▼ Footy-Demon have gold-boots 50 - 53
 - ▽ ハンマープライス 54
 - ▼ 胸に輝くマークは？ 55 - 64
 - ▽ 至高の肴 65
 - ▼ The Peak of Week-end 66 - 69
 - ▽ 歴史と記録の宝庫 70
-

Index

Index もくじ

- ▼ NAASH 71 - 73
 - ▽ 美しくアツい賛美歌 74
 - ▼ ちびっこ蹴球長者 75
 - ▽ わらじでボールは蹴れないけれど 76
 - ▼ Siesta 77
 - ▽ ワールドカップがやってくる... 79 - 81
 - ▼ V字回復 82 - 84
 - ▽ The Agent 85 - 88
 - ▼ 移籍金 89 - 92
 - ▽ 備えあれば憂い無し 93
 - ▼ Thats Quality 94 - 95
 - ▽ 税金の話 96 - 98
 - ▼ “Beckham-low”って言うらしい 99 - 100
 - ▽ Low-Kick 101 - 111
 - ▼ Manager という仕事 112
 - ▽ クラブを育むベース 113 - 121
-

- ▼ 技を競う場の現在 122 - 134
 - ▽ Various Topic for LONDON-50 135 - 137
 - ▼ 欧羅波 138 - 149
 - ▽ メジャー・リーグ 150 - 153
 - ▼ 不滅の王国 154 - 156
 - ▽ ゴール・ド・ラッシュ！ 157
 - ▼ 実は強豪国 158 - 159
 - ▽ Fragrant Harbour 160
 - ▼ Football を超えた Football 161 - 162
 - ▽ マンガ & アニメ !! 163 - 164
 - ▼ “Movie” or “Film”？ 165 - 167
 - ▽ “音” the Football ♪ 168 - 172
 - ▼ FOOTBALL を伝えるという役割 173 - 177
-

～フットボールは少年を紳士にする～

周囲とコミュニケーションを取りながら目の前の問題を解決する。

自分とは違った環境で育った仲間や相手から多くの事を吸収する。

ひらめきと行動力で瞬時にチャンスを切り拓く。

問題点・課題点を見出し、解決策を検討し、実践する。

栄光と挫折を繰り返し、各局面を自分なりの対処方法で乗り越える。

努力する事の大切を知る。

強い気持ちを持つ事の大切さを知る。

～フットボールは少年を紳士にする～

Football English

“サッカー:Football” は世界の共通語。だからこそ覚えておきたいコトバ。

【1】“unlucky” = おしい！！

仲間が惜しいプレーをした時は手をたたきながら“unlucky- unlucky”

【2】“push - up” = おしあげ～！！

劣勢／押されている状況をクリアして打開。“push - up！”カウンターチャンス！

【3】“kit” = (サッカー)用具

ビブスやコーン、フラッグ etc すべてが football の一部。

【4】“XX(min) left” = 残り xx 分

[例]残り10分 = 10 minutes left.

リードしている時には早く聞きたい言葉だけど。。。

【5】“nil” = ゼロ

サッカーのスコア等を表す時は“零点／スコアレス”を“ZERO(ゼロ)”ではなく“nil(ニール)”と表現するのが一般的。

例えば“2-0(two - nil)で xxx の勝利”等。

【6】“equalizer” = 同点弾

※equalize: 同点にする。

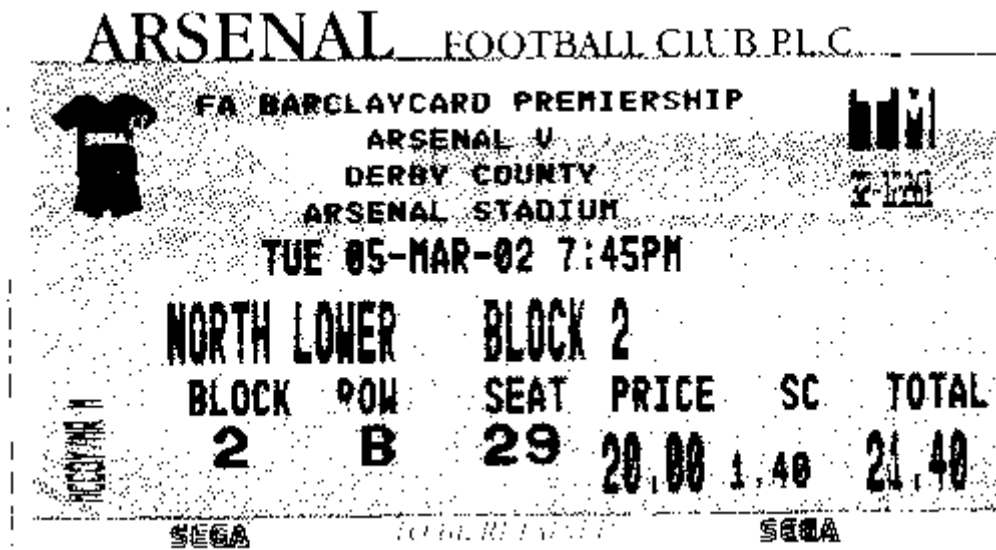
強いチーム程簡単に決める“equalizer”。

劣勢に陥った状況を一変させる一発。それ程簡単に決めれるモノじゃないけれど。。。

【7】“Deflected-in” = (DF 等に当たってボールの軌道が変わり、そのままゴールすること)

※“deflect” = 片寄せさせる／そらせる／曲折する etc

GK にとってはスゴくつらい。



【8】(スタジアムにて) <Lower>: 下層席 <Upper>: 上層席

Lowerの方がグラウンド/選手を近くでみれて良いんだけど、
(古いスタジアムの場合特に)たまにハイボールが視界から消えてしまう。。

【9】“skipper”=キャプテン/主将/船長

※キャプテン翼→ skipper TUBASA
アナタのベスト skipper は？

【10】“magnificent” = たいしたもんだ!!(すばらしい!!)

「すばらしい」という表現は他にも色々あるけど、最近はこの言葉が最も良く使われているような気がする。
辞書をひくと『壮大な/堂々とした/気高い/偉大な』とあるけれど、footballでは「たいしたもんだ」と訳するのが一番しっくりくる。

【11】“accelerate”=加速する。

疲れた時にすっごく〜く効く(嫌な)のが「緩急をつけたドリブル」。
“ワンフェイント入れて〜、、、“accelerate!!”
仕事や勉強も、一息ついたら心機一転、、、“accelerate!!”

【12】“another day, another glory” = 今日もまた新たな栄光を。。。

“栄光”を積み重ねる事で“自信”が生まれ、“自信”が“強さ”となり、“強さ”がまた新たな“栄光”につながる。
アナタにとっての“栄光”とは？

【13】“double” = (ホーム/アウェイともに勝利すること。)

タイトルを2つ獲得した(2冠を表現する)時にも“double”を使うけれど、
一般的に“double”は“↑”の意味で使われる事が多い。

【14】“star-pupils” = スターのたまご

国際的な大会は、どれも言ってみれば“star-pupils”マーケット。

本大会に出場できれば選手がその後チャンスを手にする可能性は一気にUP。

逆に出場できなければ ↓↓↓

五輪は「出場することに意義がある」なんていうけれど、Footballの国際大会は「出場しないと仕事にならない」。

【15】“draw out” = (才能等を)引き出す

才能は誰かに引き出してもらうのではなく、自らそのチャンスをさぐり引き出すモノ。

(誰もそんな事言ってない！)

【16】“faced-smile (or laugh)” = つくり笑い

観る者(ファン)にとって一番大切なのは「ベストの状態プレーする選手達の素晴らしいプレー」。

マスコミの集中砲火を受ける選手がプレーに精彩を欠くことは決して少なくない。

『コレがおれの仕事さ』:映画“ゴール”のシリーズ2作目で主人公を執拗に追い回す“パパラッチ”のセリフ。

“自身にとっての至高の芸術を、自身の手で汚す”

そういえば以前、どこかの学生がイタリアの遺跡に落書きをしてつかまったってニュースがあったけれど。。。。

【17】“header” = ヘディング

“ヘディング”じゃなくて“ヘッダー”

【18】“off the post (bar)” = ポスト(バー)に当たって/ポスト(バー)にはじかれて

ファミコン(任天堂:ファミリーコンピュータ)用ソフト『キャプテン翼』(テクモ)

『キーパー取れな〜い！おーっと、しかしボールはポストにはじかれた〜』

“ムカーーーーーー！！！”

翼くんだったらオーバーヘッドであざやかに押し込んでくれるからまだイイんだけど、日向くんだとボールがバンクしちゃうからたいへん。

【19】“coach” = バス

[例]

“Coach to Paris” = パリ行きのバス

“Coach Station” = バスターミナル

『上列』=パリ(で開かれる国際大会)に行く(出場する)ための指導者(コーチ)じゃなくて、

『下列』=指導者(コーチ)紹介所でもない。

【20】“hammer ~” = たたきのめす→圧勝する。

⇒[A]hammer[B]:[A]が[B]に圧勝する。

“力の差”はスコアや数字(結果)に明白にあらわれる時もあれば、そういったモノにはまったく現れず当事者も含めてほんの一握りの人間にしかわからない時がある。

【21】“Given” = 笛が吹かれた(ゴール、PK、FK等が与えられた)

ビデオ判定制度の導入は必要か？

全ての判定をビデオ判定に委ねると決めない限り、結局ビデオで判定するかどうかを決めるのは“人”。

“観ていてアツくなれる面白いゲーム”のためにもテンポ感、スピード感を欠いてほしくはないけれど。。。

【22】“get a cramp” = (足などを)つる

[例]my leg's getting a cramp = 足がつってるー

R・バジジオは足がつってる時もカッコ良かったけれど、、、

FOOTBALL(運度)の前には入念なストレッチを。

“音” the Football

～独断と偏見に満ち溢れた football-music 10選～

1 『UEFA Champions League Anthem』

欧州チャンピオンズ・リーグ・アンセム。

試合開始前、この曲が流れると同時に選手達のハートのスイッチが ON になると言う。

原曲は18世紀ドイツ生まれのイギリス人作曲家ヘンデルによって作曲された『司祭ザドク (Zadok the priest)』。(“ジョージ2世・戴冠式アンセム”の1曲目)

2 『Hey Baby』 DJ Otzi

オリジナル(原曲)の performance は Bruce-Channel / 米国人シンガー (1962年)。

2001年～オーストリア出身 “DJ Otzi” のカバー・バージョンがヒット。

スタジアム中にこだまする “うっ！はっ！” は是非 Live (@スタジアム) で！

3 『You'll never walk alone』 valious

リヴァプール・サポーターが試合開始前に “大合唱” するこの曲。“Football 界の聖歌” 的な扱われ方をする超スタンダード。元々はブロードウェイ・ミュージカルの中で使われていたらしい。

どちらにも “最高の劇場で流れる最高の音楽” という共通点がある。

4 『We will Rock You』 Queen

それまでの会場内のざわめきがいったん静まりかえり、選手入場と同時にこの曲が流れると、観る側のテンションは一気に “↑”。気分を昂めるにはもってこいの曲。

5 『島唄 / SHIMAUTA』 BOOM

“アルフレード・カセーロ氏” のカバー・バージョンがヒットして、02・日韓ワールドカップではアルゼンチン代表の応援歌としても歌われたこの曲。

マラドーナやメッシもきっと知ってるはず。

6 『Live for Love United』 LOVE UNITED Pascal Obispo [フランス]

“世界最強軍団による世界最高の football-song”。

(※ “2002 FIFA 日韓ワールドカップ公式アルバム” インターナショナル盤収録)

ジダン～カンナバーロのフレーズ“Have you ever dreamed of playing for The biggest team there is on earth” (地球上で一番のビックチームでプレーすることを夢みた事はあるかい?) からはじまるクリップには総勢50人のスター・プレーヤーが出演。アジアからは韓国の“Young-Pyo Lee/イ・ヨンピョ (09年現在ドルトムント所属)” が出演している。

7 『We are the Champ ～The Name of the Game～』

“日本サッカー協会公認” 93 日本代表オフィシャル応援歌。

Jリーグ開幕当初やたら耳にしたこの曲も今は“なつかしの～” ジャンル入り。そういえば“Ole-Ole” って全く言わなくなったような気が、、、

8 『振り向くな君は美しい』 高校サッカーのテーマ曲

1976年 作詞：阿久悠氏、作曲：三木たかし氏。

“日本全国サッカーファン公認”、、、と言ってもイイくらいの“お正月の定番”。そろそろ新しいカバー・ヴァージョンがヒットしてもイイ頃。

9 『冬のライオン』 アニメ “キャプテン翼” エンディング・テーマ

作詞：吉岡治氏、作曲：馬場孝幸氏。

翼くんがひたすら走り続けるエンディング・テーマ。

“ジグザグ・サンバ” よりも“storm!” がイイ。

10 『The great escape』

原曲は映画“大脱走 (The Great Escape-1963年)” のテーマ曲「The great escape march」～Elmer Bernstein (米国) 作曲。数多くのカバー・ヴァージョンが存在するこの曲もやっぱりスタジアムで聴く“LIVE版” が“ベスト”。

“音” the football ことばなし

◆ラスタ・FOOTBALL◆

レゲエの神様 “ボブ・マーリー (1945～1981)”。

イギリス人の父 (軍人) と、ジャマイカ人の母の間に生まれた彼が大のサッカー好きだった事は広く知られている。

『もし最初に好きになったのが音楽じゃなくてサッカーだったら、ミュージシャンとしてのオレは危なかった』、『サッカーとは自由を意味する』等、彼の残した言葉からはその思いが伝わってくる。

ツアー中、時間に余裕があれば常にボールを蹴っていたというレゲエの神様は、いつもの様に休憩時間サッカーをしていた最中に負ったケガが原因でかえらぬ人となってしまう。

やがてそのDNAは神様の子：ローアン・マーリーに受け継がれ、ローアンはミュージシャンではなくFOOTBALLERになる道を選ぶ。

そして現在、“ラスタ・FOOTBALL”のDNAは、女神 (ローリンヒル) との間に授かった子達に継承されている。。。

◆Dream Comes True◆

映画『ライオンキング』等、数多くの世界的名曲を誇るエルトン・ジョン (英国出身)。

“ナイト”の爵位を叙勲した彼がサッカー好きなのはfootballファンにとっては一般常識。

音楽で成功した若かりし頃の彼が手にしたのは、お気に入りのサッカークラブ“ワットフォードFC (現在チャンピオンシップ/2部所属)”だった。クラブの会長に就任した彼は30歳にして子供の頃の夢を実現させる。当時、彼の愛車“アストン・マーティン”は見事なまでにワットフォードカラー“黒～赤～黄”でペイントされていたと言う。

その後もクラブが1部に昇格するために大金を投じ、1987年にクラブはいったん彼の手から離れるものの、10年の月日を経た後・1997年に再び彼の元へ。親交の深いD・ベッカムが彼のミュージック・クリップに出演する等、もはや『サッカー好きのミュージシャン』ではなく『サッカー人でもあるミュージシャン』の域にまで達している。

◆音the兄弟◆

09年夏・兄ノエル・ギャラガーが脱退したのを機に『終了宣言』がされた、90年代の英国を代表するロック・バンド“オアシス”。マンチェスターで生まれ育ったバンドの核：ギャラガー兄弟が兄弟揃って“マンチェスター・シティ・ファン”そして“アンチ・ユナイテッド”なのは世界中が知っている。96年に兄弟でチームのスポンサーになり約10億円のトレーニング施設を提供、旧スタジアム（メインロード・スタジアム）で選手・関係者が利用するレストランは『Oasis』と名づけられた。

『Oasis』のロゴ入りユニフォーム等も販売されていたが、コレはあくまでもファンに向けたアイテムで、選手達が公式戦で着用することはなかった。宿敵マンU T Dの中心選手“G・ネビル”はOasisの大ファンで、試合前後よく彼等の歌を口ずさんでいるらしい。

<兄・ノエル>

♪07年、当時W・ルーニーの婚約者であったコリーン嬢（現在のパートナー）から、フィアンセ：ルーニーの誕生日にプレゼントするギターにサインを入れてくれるよう頼まれた際、ギター全体をマンチェスター・シティのイメージカラーである水色にペイントし、マンチェスター・シティのクラブ・アンセム「ブルー・ムーン」の歌詞をボディ・トップに書き込み、『ハッピーバースデー、スポンジ・ボブ※』と書かれたメッセージカードを添えてルーニーに送り届ける。

W・ルーニーはこれを見て大爆笑したが、さすがに自宅にこれを置いておくわけにはいかないので、チャリティ・オークションに出品。後日、ノエルに自身がマンチェスター・シティ戦でゴールを決めた時の写真に「スポンジボブは最高さ」というメッセージカードを添えて送ったらしい。

※【スポンジボブ】※

オリジナル『SpongeBob SquarePants』。アメリカで生まれたテレビギャクアニメ。

原作者：ステファン・ヒーレンバーグ（Stephen Hillenburg）。

アメリカでは1999年から、2007年からは日本でもNHK教育テレビで放送開始。

アメリカでは子供だけでなく大人からも好評を博し、多くのファンに親しまれている。

主人公の“スポンジボブ・スクエアパンツ”は、チーズによく間違われる全身スポンジのキャラクター。

♪D・ベッカムやA・デル・ピエロ、イタリアでプレーする選手とも仲が良い事を公表しているが、ブラジル代表カカがマンチェスター・シティからのオファーを断りR・マドリリーに移籍した後ミラノで行われたコンサートでは、“カカに捧げる”として『Don't Look Back In Anger』を熱演したらしい。

<弟・リアム>

♪不甲斐無いイングランド代表チームを『ゲイ・ボーイズ』とこき下ろし、報道陣から『もしも魔法が使えたら？』という質問された際には『オールド・トラッフォードを消す』と回答している。

◆音the兄弟 Vol.2◆

日本人の父と、ガーナ人の母との間に生まれた“矢野兄弟”の人生はまさに「The Long and Winding Road」.

<兄・矢野マイケル>

11歳の時、十数人の強盗団に襲われたのがきっかけで家族は全員で日本に移住。その後、16歳からドイツのヴェルダー・ブレーメンユースに在籍し、日本へ帰国した後は“ドイツ留学の経験”と“100メートル走=10秒8、垂直飛び=1m10の身体能力”をひっさげ、清水エスパルスユース→ヴィッセル神戸→水戸ホーリーホック→サガン鳥栖を渡り歩き、J通算3ゴールの実績を残す。鳥栖退団後は中田英寿氏が活躍したイタリア・ペルージャのテストを受け、見事合格するものの結局引退。

引退後、音楽ユニット『Double Dogz Crew』を結成しミュージシャンとして活動するが、数年後（2004年）にキックボクサーへと転身。間もなく勝ち星をあげるが、血液検査の際に“B型肝炎ウイルス・陽性”が判明してドクターストップがかかってしまう。

格闘家としてのキャリアを断たれた後はHIP-HOPグループ「BLENDZ」を結成し再び音楽活動を再開。デビュー曲『161K』（06年8月）がプロ野球・読売ジャイアンツのクルーン投手の登場曲として使用され、『BREAKAWAY』はアジアリーグ・アイスホッケー“日本製紙クレインズ”のチーム・テーマソングに採用される等各方面からの注目度は高く、08年にはNHKドキュメンタリー「につぼんのゲンバ」で“日本で活躍するハーフの代表”としてその姿・活動の様子一部始終が公開されている。

彼は現在も「BLENDZ」メンバー・同じく元サッカー選手のIGORとともに東京都社会人リーグでサッカーを続けている。

<兄・矢野デイビット>

10歳から15歳までクラシックを学んでいた弟は、大学では人文学部英語英文学科を専攻し教員を目指している。幅広い経験を積むため、俳優、モデルとしても活躍中。映画やCMにも出演し、スポーツニュースのレポーター等も務める。

日本人建築家の父は、アフリカで多くの人命を救った野口英世の記念館を建築するために当地をおとずれていた際、ガーナ人の母と出会ったらしい。

偉大な先人に導かれた父と母の子達の物語は、この先もまだまだ続く。

～ココロとカラダ～

身体が良く動く



普段はトライしない様な事でも、
思い切ってトライできる。



ウマくできた。



それじゃ、もっと色んな事にトライしてみよう。
少くらしい失敗しても
身体が良く動くから大丈夫。



気分爽快



よく食べ、よく寝る。



さらに身体が良く動く

身体が良く動く動かない



今日はここまででやめておこう。
今日はコレくらいにしておこう。



チョットした失敗。



もうこれ以上失敗したくないから、
もっと加減しよう。
身体が良く動かないのでやめておこう



最悪



食事が美味しくないし、良く寝れない。



さらに身体が動かなくなる。

発行:2010年5月

製作協力 : Mr.Mituzo, Miya, Tecchan, Sean, Danu, Jose, Ema, Luis,

編者・著者: SAM @copyright

発行者 : SAM

TEL : 090-5403-2136

E-mail : nsatoz@yahoo.co.jp



【 FC-7O UTD 】

<http://fc7outd.blog55.fc2.com/>



【One-Touch-Freak】

<http://onetouchfreak.blog36.fc2.com/>
